

## 深ぼり！あわら市の蓮如さん伝説

### 一揆の亡霊 帝釈堂口の戦い

身の毛もよだつ、あわら市前谷区たいしゃくどうぐちの帝釈堂口に残る一向一揆の怪談を紹介します。地名の由来となった帝釈堂は、奈良時代に創建された古刹、浄土宗帝釈山松龍寺しょうりゅうじの裏手にあり、「中川の宮」と呼ばれています。寺の前を通る風谷峠道は、山中温泉と越前を往来する重要な街道で、街道脇に点在する石屋根の地藏堂が賑やかだった往時をしのばせます。

約 520 年前の永正 4 年（1507）7 月 28 日、この松龍寺付近で、一揆勢と越前国主、朝倉勢による合戦が起きました。越前を追われて加賀国に逃亡していた本願寺の末寺である和田本覚寺や藤島超勝寺の大坊主と門徒たちは、故郷の地を奪い返そうと風谷峠より侵入します。しかし、この動きを事前に察知していた朝倉勢が急きょ兵を差し向けたため、一揆勢は総崩れとなりました。大将格の和田坊主はわれ先にと逃げ出し、一揆勢は辺り一面に火を放って敗走します。その中であって、加賀石川郡西縁組にしなちぐみの旗本、玄任げんとうと言う強者とその一団 300 余人は孤軍奮闘しますが、ついに枕を並べて討ち死にしました。松龍寺住職の話では、近くに血に染まった一揆の刀剣を洗った池があり、さらに当時の刀の鏝つばが近隣の田畑から出てきたそうです。

『北陸七国志』の「帝釈堂口合戦附玄任討死並亡魂」や『朝倉始末記』によると、激戦から 1 カ月ほど過ぎた後、村里に夜な夜な化け者が現れました。ある夜、家の戸を叩く音が聞こえたので開けてみると、顔のない白いむくろが 4、5 人立っており、やがて姿を消したと言います。また、青々とした首が窓から入ってきてにたりと笑う等、村人は夜も眠れない日々が続いたそうです。

さらにある日の夕方のこと、旧金津町の御簾尾みすのおにある龍澤寺の禅僧 3 人が帝釈堂を通りかかると、雲の上に浮かぶ何人もの兵士の亡霊に出くわします。その兵士の 1 人が「合戦で死んだ双方の者が、修羅道しゅらどうに堕ちて昼夜たがわず殺し合う。その苦しみはいかばかりか」と大声で叫ぶと大勢の兵がいつせいに鬨ときの声を上げ、干戈かんかを交える音が鳴り響きました。

しばらくすると、今度は傘ほどの大きな光るものが 200 ばかり飛んできて、その後を鬼が荒馬に乗って炎を吐きながら追いかけてきました。3 人の禅僧は、この地獄のような光景に腰を抜かし、息も絶え絶えに逃げ帰ったと言います。また、昼間でも小雨が降り、冷たい風が吹く日には合戦の声が遠い空から聞こえたそうです。

そのことを聞いた豊原寺（坂井市丸岡）の僧、増信が昼夜、法華経どくようを誦し、卒塔婆そとぼを立て廻まわりました。越前国主の朝倉貞景も戦死者の供養にと一乗谷近くの阿波賀に経堂を建て、毎年 110 人の僧侶を以て法華経千部を誦経させました。

しかし、その後もたびたび一揆の亡霊は村人を悩ました。江戸中期、篤信の地元民が

阿弥陀仏、観音菩薩、地藏菩薩の三体仏を建てて慰霊します。これが中川の三体仏です。江戸後期、松龍寺の智山住職は、熊坂の「熊坂長範物見の松」という名木が枯れたため、一揆の犠牲者と北陸の民衆の供養にと熊坂大仏と、木屑から 1000 体もの小さな阿弥陀仏を彫って安置しました。

さて、ここからが「深ぼり！ あわら市の蓮如さん伝説」です。一揆の後日談として、興味深い挿話が『朝倉始末記』にあります。合戦が始まる前、本願寺の大將格、和田坊主は「攻め込む足は極楽浄土へ参るもの、退く足は無間地獄（むけんじごく）に落ちるものと思え。覚悟を決めて戦うのだ」と士気を高揚しました。勇ましく一揆勢を鼓舞した和田坊主ですが、戦局不利と見るや、真っ先に逃げ出し、加賀の自坊に戻ったそうです。

その後、無念の死を遂げた玄任の妻が和田坊主を訪ねます。彼女は涙にくれて打ち臥したため、和田坊主は「貴女と玄任殿は、仲の良いご夫婦だったから悲しまれるのも無理がなかろう。しかし、仏教に愛別離苦の教えがあるように、今さら嘆かれても仕方がない。門徒である玄任殿は必ずや極楽往生を遂げられたでしょう。愚僧も追善廻向をしてさしあげます。南無阿弥陀仏」としたり顔で教訓を垂れました。

すると、妻は「まことにそのとおりです。亡き夫は御坊（和田坊主）のお言葉のごとく、一步も退かず、討死しましたので極楽往生は間違いありません。でも、御坊は味方を見捨てて一目散に逃げられたのですから、お言葉のごとく、必ずや無間地獄に堕ちると思うと、御坊が気の毒でなりません。それがおいたわしく、涙が流れたのです」と冷たく言い放ったところ、和田坊主は面目を失って黙り込んでしまったそうです。軍記物語とは言え、信心第一を掲げながら、俗権と保身を図る坊主分や、一揆の実態を側面から諷刺したエピソードです。



あわら市松龍寺付近の田畑から出土した一揆の刀のつば（同寺蔵）